

## 2026 年 中城湾港クルーズ船予約申請要綱

本要綱は、中城湾港（以下「本港」という。）におけるクルーズ船の入出港に係る安全対策等の内容を整理したものであり、船社及び船舶代理店等（以下、「申請者」という。）が本要綱を遵守することを前提に 2026 年 1 月 1 日～12 月 31 日の岸壁予約申請を行うこととする。

なお、本要綱は、主たる事項について記載しており、本要綱に基づき、岸壁予約申請がされた場合においても、関係者との調整を踏まえ、安全性の確認が出来ない等の場合は、岸壁の予約を受け付けないことがあるので留意すること。

なお、本要綱は試行であり、2027 年以降の申請については、本要綱の内容を変更する可能性がある。

### 1.2026 年予約の受入条件

（１）中城湾港新港地区西ふ頭における寄港可能クルーズ船は 16 万総トン級以下の船である。

（２）クルーズ船が利用可能な回数は、原則隔週（第 2、第 4）で 1 回とする。

※ここでの 1 週間とは、月曜日から日曜日とする。

中城湾港新港地区での受入れ岸壁は、西ふ頭-13m 岸壁を基本とし、船型によっては隣接する -10m 岸壁も利用可能とする。

（-13m 岸壁と-10m 岸壁において、クルーズ船 2 隻での同時接岸は想定しない。）

（３）中城湾港新港地区において、5 万総トン級（船長 229.85m）を超えるクルーズ船が初寄港する場合においては、原則、昼間（日出から日没まで）の入出港とすること。

（４）航行安全対策は以下の委員会で検討されており、その報告書の内容を理解し、遵守して運用すること。以下に、その概略を記載するが、詳細は委員会報告書を確認すること。

- ・中城湾港（新港地区）大型客船入出港に伴う航行安全対策調査専門委員会
- ・中城湾港（新港地区）貨物船大型化および航路整備に伴う航行安全対策調査専門委員会

#### ア) 5 万総トン級～16 万総トン級（船長 348.00m）までの対策

客船クラス	平均風速	波高	視程	喫水	接岸速度
16 万総トン級	昼間 10m/sec 以下(入出港)	1.5m	2,000	余裕水深 10%	8cm/sec 以下
14 万総トン級	夜間 8m/sec 以下(出港のみ)	以下	m 以上	以上確保	9cm/sec 以下

※水先人を要請することが望ましい。（初寄港の際は水先人を乗船させること。）

※前路警戒船として、曳船を利用し、前路警戒や他船との通信連絡、回頭時等の本船と付近浅所間の距離を報告する等の業務を行なうこと。

※港内の平均風速は、風向風速計やその他の風速計等の情報を参考に船長が総合的に判断する。

【参考】中城湾港風向風速観測 WEB <https://nakagusukuport.meteonote.net/top>

※2024 年中に航路・泊地の浚渫工事が行われる場合は、別途受入条件を設ける場合がある。

イ) 5 万総トン（船長 229.85m）以下級の対策

客船クラス	平均風速	波高	視程	喫水	接岸速度
5 万総トン級	12m/sec 以下 (入出港)	1.5m 以下	700 m 以上	余裕水深 10% 以上確保	13.3cm/sec 以下

※水先人を要請することが望ましい。

※前路警戒船として、曳船を利用し、前路警戒や他船との通信連絡、回頭時等の本船と付近浅所間の距離を報告する等の業務を行うこと。

※港内の平均風速は、風向風速計やその他の風速計等の情報を参考に船長が総合的に判断する。

【参考】中城湾港風向風速観測 WEB <https://nakagusukuport.meteonote.net/top>

※2024 年中に航路・泊地の浚渫工事が行われる場合は、別途受入条件を設ける場合がある。

（５）中城湾港については、以下の点に留意して予約申請すること。

① 中城湾港新港地区において、5 万総トン級（船長 229.85m）を超えるクルーズ船が初寄港する場合は、本要綱の内容を踏まえ、代理店及び船社は、安全対策確約書を作成し、提出すること。

なお、安全対策確約書の提出期間は、入港予定 150 日前～120 日前の期間内とする。（入港予定の 150 日以上前には受け付けないので、留意すること。）

但し、予約後であっても、関係機関との調整の結果、安全対策確約書では安全性が確認できない場合は、安全対策確約書を受理しない。

なお、安全対策確約書の正式な受理が、寄港の前提条件であることに留意すること。

さらに、安全対策確約書の作成の過程で、船型によっては、回頭水域における回頭操船シミュレーションを依頼する場合がある。

② 中城湾港新港地区では、通常、毎週木曜日にバース会議を開催しており、船社（又は船舶代理店）は寄港前のバース会議に参加し、他の水域利用者への情報提供及び行き会い調整依頼等を行うこと。

③ 中城湾港新港地区では、配車可能なタクシー台数が限られているため、個人旅行者（F I T）が多いと見込まれるクルーズ船においては、ふ頭内での乗客及びクルーの滞留を避け、安全性を確保するため、船社において、シャトルバスの手配及び運用し、乗客を速やかに近隣施設等へ案内すること。  
なお、シャトルバス等の乗降場所については、沖縄県及び中部広域市町村圏事務組合と協議すること。

④ 西ふ頭岸壁エプロン付近でツアーバスの乗車を行う場合、物流の利用状況により、その待機可能台数に限りがあることから、一部のツアーバスは東ふ頭や連絡通路に一時待機し、エプロンの状況を踏まえて、西埠頭内への移動が必要となる。

このような運用を行う必要性を理解し、運用にあたっては船社（又は船舶代理店、ランドオペレーター）が責任を持って実施すること。

⑤ 中城湾港（新港地区）のクルーズ船への給水可能時間について、2025 年以降の給水可能時間は、未定である。

⑥ 本港には、ターミナルビルがないため、待合用テント及びトイレ等が必要な場合は、船社において手配すること。

⑦ 港湾施設が災害等で被災して使用できない場合や沖縄県港湾管理条例第 13 条第 2 項に該当するときなどは、岸壁予約や港湾施設使用許可を取消す場合がある。その際は、県港湾管理者や本部港管理事務所から予約確定者へ連絡するので、協議に応じること。

※沖縄県港湾管理条例（使用許可の取消し等）第 13 条 第 2 項

知事は、次の各号のいずれかに該当するときは、使用者に対し、前項に規定する処分をし、又は同項に規定する必要な措置を命ずることができる。

（１）港湾施設の工事のためやむを得ない必要が生じたとき。

（２）港湾施設の保全上著しい支障が生じたとき。

（３）前 2 号に掲げる場合のほか、公益上やむを得ない理由が生じたとき。

（６）本予約終了後における 2026 年予約受付再開は、来年 5 月を予定している。

## 2 2026 年予約の対象船舶及び申請条件

本予約は、平良港、石垣港、中城湾港もしくは本部港（以下、「対象 4 港」という。）へ寄港する下記クルーズを対象とし、一連の行程を踏まえつつ、予約を受け付けるものである。

なお、予約申請が重複する場合は本要綱 5 及び【別添】に基づき予約を確定するため、本港の岸壁の空き状況に関わらず予約を受け付けられない場合があるので留意すること。

### （１）沖縄発着クルーズ

那覇港および対象 4 港（以下、「県内港湾」という。）を乗船港、下船港とするクルーズが、本港を行程に含む場合はその予約を申請することができる。

なお、那覇港発着で本港を行程に含む場合には、那覇港管理組合が 4 月 3 日に提示した那覇港の先行割当の結果を反映したものの提出を求める。

### （２）長期周遊・ワールドクルーズ

世界一周または太平洋一周など、一定のエリアを長期的に周遊するクルーズ（行程が 50 日以上で、15 か国以上の寄港地または 20 か所以上の寄港地をめぐるクルーズを条件とする）が、本港へ寄港する場合の、その予約を申請することができる。

## 3 2026 年予約に関するスケジュール

2026 年の予約に関しては、申請者がより多くの予約を確定できるよう、一次申請・結果回答を行ったあと、発着クルーズに限り、一次結果後の空き枠内での二次申請期間（該当がある場合）及び三

次申請期間（該当がある場合）を設けるため、申請者は以下のスケジュールに沿って、申請を行うこと。

- ・一次申請受付期間 **2024 年 4 月 8 日(月)～2024 年 4 月 25 日 (木) 17 時締切**
- ・各港湾管理者から各申請者への一次結果の回答 **2024 年 5 月 15 日(水) 17 時まで**
- ・各申請者からの二次申請期間（発着クルーズに限る（該当がある場合のみ））

**2024 年 5 月 20 日 (月) ～2024 年 5 月 31 日 (金) 17 時締切**

- ・各港湾管理者から各申請者への二次結果の回答 **2024 年 6 月 5 日 (水) 17 時まで**
- ・各申請者からの三次申請期間（発着クルーズに限る（該当がある場合のみ））

**2024 年 6 月 10 日 (月) ～2024 年 6 月 21 日 (金) 17 時締切**

- ・各港湾管理者から各申請者への三次結果の回答 **2024 年 6 月 26 日 (水) 17 時まで**

#### **4 2026 年予約の申請書類等**

- (1) 予約申請書様式は、対象 4 港いずれの港湾でも同様のエクセル様式とし、電子メールで以下の提出先に申請書様式を添付して申請すること。
- (2) 二次申請及び三次申請についても、電子メールで以下の提出先に申請様式を添付して申請すること。申請様式については、各管理者から、一次結果及び二次結果の回答時に送付されるものを用いることとする。

#### **(3) 提出先（以下のすべてのアドレスにお送りください）**

宛先：xx060020@pref.okinawa.lg.jp; hanashma@pref.okinawa.lg.jp;  
sueyoshj@pref.okinawa.lg.jp; aa062006@pref.okinawa.lg.jp;  
azamatk@pref.okinawa.lg.jp; cruiseyoyaku@city.ishigaki.okinawa.jp;  
t-kohama@city.ishigaki.okinawa.jp; kouwan@city.miyakojima.lg.jp;  
1514.chouji@city.miyakojima.lg.jp

※上記の宛先に表示された担当者等のアドレス以外には申請しないこと。申請があっても受理できないので注意すること。

#### **(4) 注 意**

メールの件名は「26〇〇〇〇（那覇港、平良港、石垣港、中城湾港もしくは本部港に寄港する日程のなかで最初の日、半角数字で記入）\_〇〇（クルーズ船名）\_〇〇（予約種別、ワールドもしくは発着）\_〇〇（那覇港、平良港、石垣港、中城湾港もしくは本部港のうち、寄港する乗船港、下船港もしくは一時寄港地すべて）\_〇〇（初めての申請（新規）かこれまでの申請の変更（変更）か）予約申請」とすること。様式のファイル名も、メールの件名と同一とすること。

## 5 2026 年予約の岸壁予約の受理と確定について

- (1) 予約を受理したことを明らかにするため、申請書様式をメールで確認次第、予約の受理連絡（一次・二次・三次）を沖縄総合事務局港湾計画課より行う。
- (2) 一次申請の予約の確定にあたり、重複する時間帯に複数のクルーズ船の申請があった場合、別添の考え方にに基づき優先するクルーズを判断し、上位順位の行程の予約確定を行う。対象 4 港において重複があった場合、下位順位については、優先順位に応じて、重複が発生しないよう、部分的に予約を確定する。
- (3) 予約結果の連絡（一次・二次・三次）は、予約申請のあった各港湾の港湾管理者より行う。すなわち、対象 4 港のうちの複数の港湾で予約を申請した場合、複数の港湾管理者から結果の連絡をすることとなる。
- (4) 一次結果にて行程全体の予約が確定しなかった申請者は、**発着クルーズに限り**、一次結果で確定していない行程部分のみ、希望の代替行程を二次申請できる。なお、期日までに申請のなかった予約については（7）に基づき予約の確定・自動キャンセルを行うこととするので注意すること。
- (5) 二次結果にて行程全体の予約が確定しなかった申請者は、**発着クルーズに限り**、二次結果で確定していない行程部分のみ、希望の代替行程を三次申請できる。なお、期日までに申請のなかった予約については（7）に基づき予約の確定・自動キャンセルを行うこととするので注意すること。
- (6) 二次申請（三次申請）の予約の確定にあたり、重複する時間帯に複数のクルーズ船の申請があった場合、**一次申請時（4 月 25 日時点）の優先順位に基づき予約確定**を行う。
- (7) 二次申請（三次申請）においても行程全体の予約が確定しなかった場合、もしくは二次申請（三次申請）を行わなかった場合については、申請する行程の一部において、県内港湾の乗船港（①）と県内港湾の下船港（②）、および①と②の区間に一時寄港する県内港湾（③）の予約がすべて確定できる場合のみ、当該区間（複数可）を二次結果として確定する。①～③のうち、予約が 1 つでも確定できない区間については、**一次結果（二次結果）で一部確定している予約を含め**、本港の予約を自動的にキャンセルとする。
- (8) 上位申請者の予約のキャンセルにて、二次申請済み（三次申請済み）の下位申請者の一次申請（二次申請）の予約が確定できる場合等、その他個別の事情がある場合には、各港湾管理者から各申請者へ別途協議することがある。

## 6 2026 年予約の申請にあたっての留意事項

- (1) 同一船舶による、同岸壁に同日時間帯、2 隻以上の重複した予約希望申請がないように精査のうえ申請すること。重複がある場合は失格とする。

- (2) 那覇港を行程に含む場合、申請書様式にて記載する際に、先行して申請されている那覇港の予約（4月25日時点）との整合を図ること。既存の那覇港の予約と整合が取れていない場合には失格とする。
- (3) 2026年の予約について、行程ごとに申請を受け付けることとする。そのため、沖縄発着クルーズの行程は、沖縄発着クルーズを連続して行うすべての行程を1行程として申請すること。
- (4) 二次結果以後（三次結果以後）に、予約をキャンセルした場合、その予約をキャンセルする理由について港湾管理者より確認し、そのキャンセルを今後の予約受付において考慮する場合がある。
- (5) 那覇港及び対象4港以外の県内小規模離島への寄港（地方港湾・漁港への停泊、港湾区域外の沖泊、砂浜への上陸を含む）については、歴史・文化・自然、地域住民を含む地域環境への配慮に関し、地元関係者等との観光コンテンツ等の事前調整が必要である。2（1）又は（2）の申請条件であるクルーズの一連の行程に、県内小規模離島への寄港を含む場合は、下記①及び②について確認し、申請様式に記載する。内容の確認が取れた場合に、行程に含まれる対象4港の予約を別紙の考え方にに基づき確定する。

＜要対応事項＞

- ①寄港する各離島の調整先（役場担当者、観光協会担当者等の担当者名・連絡先）について申請様式に記載する。
- ②船社が利用する船舶代理店の担当者名・連絡先（申請様式の提出者と異なる場合）、及び旅行代理店の担当者名・連絡先について申請様式に記載する。

※予約が確定されるのは対象4港のみであるため、注意すること。

※「沖縄離島へのクルーズ船寄港における上陸等事前ガイドライン」に基づく関係者との事前調整を行うこと。寄港先により事前調整に時間を要すること等が想定されるため、寄港までのスケジュールに余裕を持って事前調整を行うこと。

## 7 質問等の問い合わせ先

- (1) 予約受入条件に関する問合せ

沖縄県土木建築部中部土木事務所中城湾港管理所

TEL098-938-7711 FAX098-938-7653

担当者 2026年クルーズ船受入予約担当

- (2) 受付時間

平日 10:00～16:00（12:00～13:00を除く）

## 【別添】

### 重複する時間帯に複数のクルーズ船の申請があった場合の考え方

予約確定を実施するに当たり、重複する日・時間帯に複数のクルーズ船の予約申請があった場合は、以下の考え方により、予約の確定を行う。

- 1 沖縄発着クルーズと長期周遊・ワールドクルーズの申請が重複した場合  
沖縄発着クルーズの申請を優先する。
- 2 沖縄発着クルーズ同士の申請が重複した場合
  - 2-1.申請の内容を以下のとおり、ポイントを合計し、得点の高い申請を優先する。但し、一定期間に複数回連続して行う沖縄発着クルーズについては、この全期間を一連の行程とみなしてポイントを合計し得点とする。  
(ポイントとの考え方)
    - ・申請内容のうちポイントの対象港は那覇港、平良港、石垣港、中城湾港、本部港。
    - ・対象港が乗船港又は下船港の場合は 2pt
    - ・対象港が一時寄港地の場合は 1pt
  - 2-2.上記 2-1.のポイントが同数の場合は、対象港の寄港数（平良港、石垣港、中城湾港、本部港）の多い申請を優先する。
  - 2-3.上記 2-2.の寄港数が同数の場合は、対象港のオーバーナイト回数が多い申請を優先する。
  - 2-4.上記 2-3.のオーバーナイト回数が同数の場合は、申請が早い順を優先する。なお、申請が早い順とは、「4 2026 年予約申請書類等」の提出先メールアドレスの受信日時で早い順とする。
- 3 長期周遊・ワールドクルーズ同士の申請が重複した場合
  - 3-1.対象港（平良港、石垣港、中城湾港、本部港）の寄港数が多い申請を優先する。
  - 3-2.上記 3-1.の寄港数が同数の場合は対象港のオーバーナイト回数が多い申請を優先する。
  - 3-3.上記 3-2. のオーバーナイト回数が同数の場合は、申請が早い順を優先する。なお、申請が早い順は、2-4 と同じ扱いとする。

以上